

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,650円
(1,500円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
真宗本廟 報恩講を
一部ライブ配信します。



東本願寺 報恩講 検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

11

Vol. 816
November 2025



真宗本廟 報恩講の御華東―年年歳歳に―

今月の写真

真宗本廟では毎年11月21日から28日まで報恩講が勤まります。その報恩講は、全国各地から参拝される門徒・僧侶をはじめ、さまざまな方々からお寄せいただくご懇念によって支えられています。御影堂や阿弥陀堂などにお備えされる御華東は、130年前から毎年、中島郡会(御華東講、愛知県)の方々が担われ、もち米の下処理から色付け・成形まで大小約7,000個のお餅を何層にも重ねて準備され、真宗本廟にお運びいただいています。

今月の法話 如是我聞

悲願の鐘

小松大聖寺教区第1組 専光寺
宮下 晴輝(76)

今夏、中学2年の孫にいざなわれて広島島の平和記念公園を訪ねました。暁烏敏師の門弟であった西村見暁先生(1915-2003)の発願による「悲願の鐘」(通称「平和の鐘」)の下に佇み、その鐘に刻まれた「IGNOBI SATTON(汝自身を知れ)」というギリシャ文字をしばしば見上げていました。

この「悲願の鐘」は、1965年に「原爆被災者広島悲願結晶の会」によって建立されたもので、そのパンフレットには、「この鐘は、「自己を知れ」の一語に、その悲願を結晶した」と記されています。これは、過ぎ去ったこととなく、今なお戦争の悲惨の中に投げ出されている、私たち皆の悲願でもあります。

私たちは、死んでいかねばならないものであり、罪をつくらずしては生きられないものです。それを知らずして生きる罪悪深重の凡夫なのです。それでも、大きな悲しみに包まれてはじめて、そんな凡夫である自己自身に目覚めることができるのでしよう。

清沢満之先生の日記『臘扇記』に「汝自身を知れ」というギリシャ語が記されています。それをそのまま刻んだこの鐘の音が、悲願の声となつて、十方世界の一人ひとりにまであまねく響きわたるとき、争いを超える道がきつと見いだされてくるに違いありません。

*真宗大谷派の善寺のウェブサイトには、パンフレットの内容が掲載されています。



真宗本廟

開門・閉門時間
6:20~16:30



Pick up

【お斎】精進料理の昼食 (11:30~13:30)
大人4,000円 子ども1,000円
※要事前申込。真宗本廟報恩講期間中(11月21日から28日)は、冥加金・提供時間帯が異なります

しんらん交流館

開館時間
9:00~17:00
休館日
毎週火曜日



Pick up

東本願寺文庫 (開室時間 9:00~16:30)
仏教・真宗を中心にさまざまな図書をご覧いただけます。
会員登録により貸出も行っています。
※登録手数料100円(要身分証) ※1人10冊2週間まで

しょうせい えん 渉成園

開園時間
9:00~16:00
(受付は15:30まで)
庭園維持寄付金
大人 700円以上
中高生 300円以上
小学生以下 無料



今月の見どころ

くちなし 梔子に実がつけました。これから冬に向けて橙色に色づく様子をお楽しみください。

インフォ information
真宗大谷派 ホームページ



令和6年能登半島地震で被害に遭われました被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます

この紙面では、さまざまな人とおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思ひます。

人間のいのちの相

すがた
連載



私たちは花束のようなもの

2024年のイヌとネコの飼育数は約1,595万頭。ペットを大切な家族の一員として迎え、ともに生活している方もおられるでしょう。日々生活をともにする中で、ペットの行動や表情から動物たちも人間と同じような感情を抱いているように見えてきますが、本当のところはどうなのでしょう。動物のいのちをとおして人間のいのちを研究されている渡辺茂さんのお話から人間の相を考えます。



1948年、東京都生まれ。慶應義塾大学名誉教授。文学博士(心理学)。専門は比較認知神経科学。1995年、ハトを訓練してピカソの絵とモネの絵を区別させることに成功し、イグノーベル賞を受賞。

インタビュー
渡辺茂さん

動物のところが知りたい

——渡辺先生は、心理学の中でも特に動物のいのちについて研究されていますが、人間と動物のいのちの違いはあるのでしょうか。

人間と動物のいのちの違いについて考える前に、そもそも私たちは「いのち」をどういうものだと考えているのでしょうか。実は、心理学においても「いのち」とは何かについて明確な定義はなく、実体があるものでもありません。社会の中で、みんなが概ね心だと納得しているものが「いのち」となっているのです。

自分(ころ)の(私的な経験)があることは確かだと思いますが、他の人が自分と同じようなのちを持つているかはわかりません。さうと相手も同じように考えているだろうと推測して生活しています。一緒に育った家族であれば違いの差が少なく、他の文化の国の人だとその差は大きい。それが動物だともっと差があるのでは、私たちが子どもの頃に誰、うちに、人間の言語とずいぶん類似したところがあることもわかってきました。

例えば、鳥は決められた特別な時期に、先生となる存在から習わないと歌うことができません。これは、私たち人間が子どもの頃に誰、かに言葉を書かないと、話すことはできないことと二階です。大人になつてから第二言語を学習しても、第一言語のように話せません。また、方言のように教わった人によって話し方も変わりますから、そういった点も鳥と人間は似ています。

人間中心主義を脱するとういこと

——先生は「脱人間中心主義」を掲げておられますが、これはどのような考えなのでしょうか。

昔は、今ほど人間中心主義ではなかったと思います。例えば仏教には輪廻という考え方があつて、生まれ変わったらウシになるかもしれないとか、前世はウマだったかもしれないといった種を超えた考え方がありました。ところが、17世紀にデカルトという哲学者が登場すると、人間には靈魂があり、動物には靈魂がなく痛みも感じないと主張し、人間と動物をわけると考え方が広まりました。その後、ダーウィンが人間と動物は連続的なものだといふ「進化論」を提唱しましたが、人間と動物の間には越えられない壁があるという考え方や人間を中心に動物を見る考えは根強いです。

しかし、研究を進める中で、人しかできないと思つてきた行動と同じような行動をする動物も見つつかけています。私はこのころの違いは「花束のようなもの」だと考えています。花束の花がそれぞれの方角に咲いているように、ハトはハトなりに、イルカはイルカなりに、ヒトはヒトなりに行動を進化させているのです。

どの種が良い悪いではなくて、それぞれが同じ地球上で生き残り、子孫を増やすという同じ課題に取り組んでいます。さういふ意味で、動物と人間のいのちの違いは、どこかにはつきり境界線があるものではなくて、違いの差が大きくなつていくことだと思つていました。さういふ意味で、動物と人間のいのちの違いがあると考えられます。

友達がいなかったわけではありませんが、どこか人間よりも動物に惹かれていたのかもしれない。

——人間と動物のいのちの違いについて研究を始めたきっかけは何だったのでしょうか。

心理学を学び始めた頃、人間のいのちを理解するために動物をとおして調べようという考え方に会つたからです。

実は、心理学では、1940年から70年頃に動物をサルとして人間のいのちを調べようという傾向が強まり、研究室に動物実験室があることも多くありました。ところが、研究が進むと、人間にはあるが動物にはない行動や、逆に動物はするけど人間はしない行動が出てきました。つまり、動物の種による差が明らかになってきたのです。

その後、その差を手掛かりに今生きている近縁の動物を比較することで、この進化を再構成できるのではないかと、この考え方が生まれました。人間とチンパンジー、チンパンジーとサル。サルとネズミ。そのうち、大型の類人猿に関しては同じなのではないかという研究者もいますが、それがすべての動物に拡張できるわけではないと思ひます。

一方で、擬人化にはメリットも当然あります。いまや動物は私たちの社会の一員と同じように暮らしています。特に、ペットは家族の代替でもあり、ヒトとは異なる種を同じ種のように扱っています。

逆に、イヌも人間を使っています。散歩や食事、排せつの世話など、人間もイヌの都合で動かされています。ペットを自分の子どもと同じように扱うのは問題かもしませんが、それによって癒しの効果があるのでは、先生は、研究の先にもどるような世界を見ておられるのでしょうか。

さうです。研究といふのは、どこかに到達点があるものではないです。つわかと、次にわからないことが出てきます。

ただ、私は人間のいのちを他の動物と比較する中で、心理学者として、人間を相対化できたように思ひます。

これは、仏教の考え方も通じるころがあると思ひますが、いろいろな動物や

ミ。さういふように行動を比較すると、この行動はさういふ動物のさういふ行動から進化してきたんだということもわかっています。

ただ、私自身はやはり動物そのものころが面白いと思ひました。動物のころをもっと知りたい。さう思つて研究をしています。

——手塚治虫さんの漫画「ブッダ」には、お釈迦さまの弟子が、動物のいのちを読み、動物のいのちがわかるのはさういふことだと思ひました。

さうです。動物と話ができたらさういふ動物のころがわかつたらさういふころは、人間の普遍的な欲求だと思ひます。西洋でも「ソロモンの指輪」という物語に、ある指輪をはめると動物の話がわかるようになるさういふ話が描かれています。

——先生は動物のいのちを研究される上で、鳥、中でもハトを対象にされていますが、なぜなのでしょう。

ハトは心理学では実験動物として一般的に用いられる動物です。鳥は、基本

的に私たちと同じく視覚が優位で、視覚情報を一番頼りにしています。だから、鳥は人間と近い条件で実験をすることができると考えられているのです。

また、実際に研究をする上では、ある程度簡単に入手可能で、維持がそれほど難しい動物であることも重要です。つまり、鳥の中でもハトは最適な動物なのです。

私が通つてきた大学の研究室でもすでにハトを使って実験をしていました。ですから、私の研究対象の多くがハトであるのは、自分が研究する環境にハトがいたことが大きな理由です。

——經典にも多くの鳥が登場して、何か鳥が特別な存在であるのではないかと思ひます。視覚以外にも人間と似ている、特別な性質はあるのでしょうか。

やはりそれは「歌(鳴き声)」だと思ひます。鳥は非常に複雑な歌を歌います。さういふ歌は、鳥は言語を持っていると考えられていて、特別な存在でした。

その後、鳥の歌は言語ではないと考えられるようになりましたが、研究が進む

最新刊

『俱舍論とその諸註釈における三世実有論批判の研究—仏教の時間論—』那須円照著 定価1,200円(税込) アビタム仏教の最盛期の学説網を網羅する世説研究『俱舍論』とそのインドの諸註釈書の中の「四眼色」における説一切有部の三世実有論を紹介し、それに対する経量部の立場から批判について論じた箇所を解説和訳する。

鏡如上人(大谷光瑞)及び弟子裏方年譜 赤松徹眞編 定価1,540円(税込) 本年刊は、東西本願寺の組織・宗主として多角的な視野と構想により教団を統率・運営し、内閣閣内などに就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総裁として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した弟子裏方年譜を編集したもの。

永田文昌堂 東西本願寺120のちがいがい 鎌田宗善著 定価800円(税込) 主に前半は、東西本願寺の組織・宗主として多角的な視野と構想により教団を統率・運営し、内閣閣内などに就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総裁として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した弟子裏方年譜を編集したもの。

東本願寺御用達 日下念珠店 〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル 電話 (075) 351-6325 フリ-FAX 0120-89-5255 定休日: 日曜日

渡辺先生の著書 『動物に「心」は必要か 増補改訂版 擬人主義に立ち向かう』 渡辺茂著 定価: 3,300円(税込) 東京大学出版会刊

縁 えん 縁特設ページ 一納骨・帰敬式 同朋会館宿泊プラン 納骨・帰敬式でのご参拝を縁に、同朋会館での生活を体験してみませんか? 詳細・お問い合わせ 同朋会館 TEL: 075-371-9185(直通) 研修部 E-mail: dobokaikan@higashihonganjori.jp 参加金 1人: 10,000円/小学生以下: 5,000円(1泊朝食付) 詳細はホームページまたはお電話でご確認ください。

ききょうしき 帰敬式
(おかみそり) [御影堂]

帰敬式は「おかみそり」ともいわれ、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、仏弟子としての名告りを表す「法名」をいただく大切な儀式です。

礼金 お一人10,000円
(20歳以下お一人5,000円)

申込 受式希望日をお電話にてお知らせください
075-371-9210

※往職選定法名での受式には事前申請が必要です。

当日のお申し込みも受け付けます
(受付時間 9:00~9:30)



LIVE **御正忌報恩講** **21日(金)**
讃仰法要 (音楽法要)

[御影堂] 9:00~ 法話 / 10:00~ 音楽法要

21日の初速夜に先立ち、作曲家の新実徳英氏により作曲された音楽法要曲を用いて、同朋唱和によりご参拝の皆さまとともに勤めます。



LIVE **御伝鈔** **25日(火)**

[御影堂] 16:30~

夕刻、親鸞聖人の御真影の前に、聖人のご生涯を伝える『御伝鈔』(上・下巻)が拝読されます。



基本日程
— 報恩講の1日 —

6:50 晨朝法要 [阿弥陀堂・御影堂]
御文
報恩講法話

9:30 **LIVE** 日中集会 (開式)
報恩講法話

10:00 日中法要 [御影堂]
引続 帰敬式

13:15 速夜集会 (開式)
門徒感話 (生徒感話)
LIVE 報恩講法話

14:00 速夜法要
御文法話
引続 初夜勤行

※日によって開始時間が異なりますので、詳細は特設サイトをご覧ください。

報恩講の法要や催しについて、詳しい情報は特設サイトをご覧ください。法要にあたり、木越渉宗務総長からのメッセージなどの動画も公開しています。

インターネットライブ配信のご案内
LIVE マークの法要や催しをインターネットにてライブ配信します。ぜひご覧ください。

YouTube真宗大谷派 公式 検索

真宗大谷派公式YouTubeチャンネル

2025年11月21日(金)~28日(金)

京都 真宗本廟 (東本願寺)

報恩講

「報恩講」は、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の御命日(11月28日)を縁として、11月21日から28日まで七昼夜(8日間)にわたって勤まります。どなたでもお参りいただけますので、ぜひご参拝ください。



LIVE **28日(金)** **祖徳讃嘆**
[御影堂] 9:00~

親鸞聖人の祥月命日である11月28日、聖人の恩徳を讃嘆し、その教えをいただく場として行われます。

参拝をしてプレゼントをもらおう!

「報恩講特設サイト(4面掲載)」をご覧になり、東本願寺にご参拝いただいた皆さまへ、記念品をお渡しします。記念品の受け取りには、参拝の際に、特設サイトにある二次元コードを境内の総合受付にてご提示ください。

事前申し込み不要!

受付時間 11月21日(金)~28日(金) 9:00~15:30 ※28日のみ9:00~12:30

LIVE **坂東曲**
[御影堂] 10:00~

結願日中(御満座)に勤まる「坂東曲」は、僧侶たちが体を大きく振りながら、念仏と和讃を繰り返す力強い声明で、当派のみに伝わります。

参拝をしてプレゼントをもらおう!

報恩講期間中、境内の総合受付にスタンプを設置し、台紙を配布します。ぜひ、東本願寺と近隣の別院の報恩講にご参拝いただき、記念スタンプを集めましょう!

別院の報恩講にお参りしよう!

全国各地の別院でもそれぞれの日程で報恩講が勤まります。

QRコード: 報恩講特設サイト

令和6年 能登半島地震 復興支援事業
~東本願寺で能登を想ふ~

ドキュメンタリー『**風が灯るころ** ~奥能登、珠洲の記憶~』
映画 上映会&シンポジウム [真宗本廟 視聴覚ホール]

度重なる地震が発生した能登半島。映画に描かれる祭りに代表される能登の「文化」の復興を切り口に、同じく人々の生活の礎となっている真宗文化の復興、寺院やお講といった地域コミュニティの今後について考える機縁といたします。

22日(土) 15:30~18:00
※映画上映に引き続くシンポジウム

協力金 お一人1,000円
※協力金は入場時にお預かりし、全額を「真宗大谷派 令和6年能登半島地震救済金」として使わせていただきます。

写真展 頼光和弘氏(石川県珠洲市出身の報道写真家)による令和6年能登半島地震と豪雨被害を被った能登の今を伝える写真展を視聴覚ホール・ホワイエにて同時開催します。

東本願寺 能登半島地震復興応援ひろば
【お東さん広場】 22日(土)~24日(月) 11:00~17:00 ※24日は16:00まで

能登の食べ物をはじめとしたさまざまな物産が、東本願寺の門前に勢ぞろいします。買って食べて飲んで、能登の復興をぜひ応援ください。

報恩講 能登震災ブース
—災害について教団を目指して—
21日(金)~28日(金) [境内白洲テント] 9:00~16:00 ※28日は13:00まで

被災地の現状や宗派の支援活動、今後想定される災害への備えの必要性をお伝えします。

LIVE **子ども報恩講のつどい**
[御影堂・阿弥陀堂・同朋会館・和敬堂]

23日(日・祝) 12:00~15:00
(配信時間 12:20~13:00)

「正信偈」のお勤め・お話や楽しいレクリエーションを行います。

お話 乾 文雄氏 (大谷中学・高等学校長)



報恩講園児絵画展 **毎日開催!**
[御影堂北側廊下・しんらん交流館・京都駅前公益地下ストリートギャラリー]



この他にもさまざまな催しがありますので、「**報恩講特設サイト**」をご覧ください。

刑務所作業製品 展示即売会・パネル展 **毎日開催**

大谷中学・高等学校 吹奏楽部演奏会 **23日(日・祝)**

御正忌報恩講 コンサート **27日(木)**

子ども参拝案内所
[境内白洲テント]

23日(日・祝)・24日(月)・28日(金) 9:00~16:00 ※28日は12:00まで

子どもたちに向けた両堂の参拝案内を実施。参拝記念品をお渡しします。工作や紙芝居、読み聞かせが楽しめます。



おてらおやつクラブ in 東本願寺
子ども参拝案内所 (開設日のみ)

皆さまからの「おそなえ」をお預かりし、真宗本廟(東本願寺)内の御本尊に「おそなえ」した後、経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちにお届けします。皆さまからのご協力をお願いいたします。

QRコード: おてらおやつクラブ

お子さまと参拝

LIVE **事前申し込み不要!無料!**
親鸞聖人讃仰講演会
[しんらん交流館2階 大谷ホール]

26日(水)~28日(金) 17:00~20:00(開場16:00)

宗祖親鸞聖人のあざからにされた本願念仏の教えをともに学び、そのご生涯を偲ぶ講演会です。

【講師・講題】
井上 見淳氏(龍谷大学教授) 「聖人一流の道をあゆむ」
草野 顕之氏(大谷大学名誉教授) 「親鸞聖人と関東の門弟」

26日(水)
27日(木)
28日(金)

【講師・講題】
楠 信生氏(元教学研究所長) 「愚禿と名のつた念仏者」
延塚 知道氏(大谷大学名誉教授) 「大無量寿経」の間思 —「歎異抄」になぜ承元の法難の記事が書かれたのか—
森村 森鳳氏(同朋大学特任教授) 「親鸞聖人の涙に導かれて」
本多 弘之氏(親鸞仏教センター所長) 「本願力回向」ということ

事前申し込み不要!無料!
真宗教学学会講演会
[しんらん交流館2階 大谷ホール]

24日(月) 18:00~20:20(開場17:00)

真宗教学学会は、真宗教学の振興、立教開宗の精神を顕らかにするために設置された宗門の学会であり、毎年報恩講中に講演会を開催しています。

【テーマ】人と生まれて—信仰と社会—
【講師・講題】
福田 琢氏(同朋大学学長) 「新子輩の時、仏もまた頭痛す」
福島 栄寿氏(大谷大学教授) 「自分史を省みる—近現代真宗史学徒として—」

親鸞聖人の自筆を間近で!
事前申し込み不要!無料!
見聞『教行信証』坂東本 [阿弥陀堂]
—親鸞聖人から私たちへのメッセージ—

21日(金)~28日(金) 11:40~/12:40~
※21・22・23・25・28日は12:40~のみ

『教行信証』坂東本(影印本)を展示し、教学研究所職員が解説します。
※1回15分。開催時刻までに阿弥陀堂内にお集まりください。
※展示は、解説時に限ります。



事前申し込み不要!
重要文化財 御影堂門楼上 一般公開

21日(金)~28日(金) 10:00~16:30(最終受付16:00)
※28日は13:00まで(最終受付12:30)

御影堂門楼上(国指定重要文化財)の一般公開を行います。
※日程の都合により時間が変更となる場合があります。

受付 御影堂門下 **寄付金** お一人1,000円(高校生以下500円)

とき **重要文化財で舌鼓**
お斎
[大寝殿・表小書院・白書院]

21日(金)~28日(金) 11:40~/12:40~
※21・22・25日は12:10~のみ、28日は12:50~のみ

報恩講のお斎(精進料理)を、お召し上がりいただけます(全席椅子席)。

冥加金 お一人4,500円
(当日、受付にてお納めください)

定員 各回120人
(定員になり次第締切。事前にお問い合わせください。)

※大寝殿・表小書院・白書院へは、参拝接待所よりお入りください。
※空席がある場合に限り、当日券を販売いたします。

味わう



あきあか
夜間特別拝観「涉成園 秋灯り」
庭園を見学する

涉成園では、夜間ライトアップを実施しています。報恩講にお参りの際には、あわせて夜の涉成園もお楽しみください。

期間 11月15日(土)~11月30日(日)
開園時間 17:30~21:30(最終受付21:00)
庭園維持寄付金(夜間) 大人1,000円以上
高校生・中学生以下500円以上
小学生以下無料

詳しくは▶

親鸞聖人りゅうじゆ てんじんがお念仏ねんぶつの教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹りゆうじゆ・天親てんしん、中国の曇鸞どんらん・道綽どうしやく・善導ぜんどう、日本の源信げんしん・源空げんくう(法然)わこく きやうしゆ。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。源信について、3回にわたってたずねています。



ひかり

七高僧と聖徳太子

第23回

源信僧都



煩惱ぼんのうにまなこ

さえられて

摂取せつしゆの光明こうみょう

みざれども

大悲だいひものうき

ことなくて

つねにわが身みを

てらすなり

〔高僧和讃〕

『真宗聖典 第二版』六〇三頁

〔現代語訳〕

私たちは煩惱ぼんのうによって眼がさえざられているせいで、すべての存在を捉め取っておられるひかりを見ることができないけれども、衆生の苦しみを取り除こうとする阿彌陀仏あみだぶつによる大いなるはたらきは、怠り見捨てることなく、つねに私の存在を照らしているのだ。

仏を目指す

釈尊以来、仏教は、私たちの苦しみの根源が煩惱ぼんのうにあることを示してきました。それならば、煩惱を無くしてしまえば苦しみが逃れることができるはずですが、ですから、仏教者たちは、次のようなことを中心に考えてきました。

「私にはどのような煩惱があるのだろうか」
「その煩惱はどのようにすれば無くすことができるだろうか」。

多くの仏道修行者にとっては、どの行によって煩惱を断じ、どのように仏のさとりに向かうかが、関心の中心でした。その仏といものは、修行の目標と捉えられていました。一方で、仏の側から私たちへどのようなはたらきかけがあるのかは、なかなか中心的な課題にはなりませんでした。

頑魯がんろの者もの

源信僧都は、若くしてその学識を朝廷から認められるほどの実力がありました。その源信僧都をしても、膨大な教えと行とを網羅もうらすることは、ほとんど不可能に感じられました。それは、源信僧都が、『往生要集』で自らのことを「頑魯がんろの者もの（融通がきかない愚かな者）」と称したことに表れています。

源信僧都ほどの僧（仏教の専門家）でも断てないのでしたら、誰が煩惱を断ずることができるのでしょうか。それならば、仏教はよほど優れた人物しか対象にしないということになります。

阿彌陀仏のお仕事

煩惱の難しいところは、その煩惱が煩わしく悩ましいものだと、本人はなかなか思えないという点にあります。親鸞聖人は、ご自身のことを「愛欲の広海に沈没し、名利の太山たいざんに迷惑めいわくして」（『教行信証』信巻（真宗聖典 第二版）二八五頁）と述べています。私たちも愛欲や名利を際限なく求めます。むしろ、それらを十分得られていないから苦しいのだと思い、さらに求めがちです。

煩惱のはたらきは、私たちを苦しめるものを必要なものと勘違いさせます。また、すでに有る大事なものを無いかのように感じさせることもあります。それは、ちょうど空が厚い雲に覆われて太陽の姿が見えないようなものです。しかし、雲の下は真っ暗ではありません。ひかりは間違いなく届いているのです。

源信僧都は、優れた人物だけを選別することが仏の本意ではなかったと気づきます。そして、諸仏の中でも阿彌陀仏のはたらきに着目します。私がどのような存在であろうともひかりで照らさずにはいられないというのが、阿彌陀仏のお仕事でした。源信僧都は、それが念仏として届いていることを示したのでした。



わけみ あきら
采翠 晃

大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

濁浪清風

連載コラム 第5回 本願の信心 —本願について—

文・本多弘之

本願とは何か、という問題を考察してきて、本願の根本には菩提心(ぼだいしん)とあり、菩提心により菩提(ぼだい)を求めた。菩提心とは菩提を求め心ですが、その菩提の内容が、仏弟子たちにとって、いろいろに異なって伝承されてきたのです。しかし菩提の根本は仏陀の心であり、それは私たち有限なる存在(せいぞん)の(いのち)を生きている側からでは、尋ね当てるのが困難(くわんなん)であることは理(こと)の当然(たうぜん)なのです。

それにもかかわらず、それを有限なる存在において、求めてやまない意欲(いよく)が起(おこ)ってしまうのです。そこに仏弟子たちが悪戦苦闘(あくせんくとう)して求めてきた仏教の長い歴史(れきし)があったのです。

それで、積尊(せきそん)がシッダルタ太子(たいし)であった頃、苦惱(くなん)の闇(やみ)を晴(は)らそうと六年間の自力(じりき)の修行(しゆぎやう)に疲れ果(は)れた後に、菩提樹(ぼだいじゆ)の下で座り続けられ、(いのち)の極限(ごくげん)において菩提(ぼだい)を開(ひら)いたと伝えられています。そのことを、方向(かうきやう)を転(ま)じて考えようとする流れが起(おこ)ったのです。

そもそも、この菩提の内実(ないじつ)を「ダルマ」と表現(ひょうげん)したとき、仏陀の智慧(ちゐ)は菩提(ぼだい)と「ダルマ」の側(がわ)にあり、仏陀の教えの言葉(ことば)は迷(まよ)いを突破(とくぱ)した立場(たてば)から迷(まよ)いの方向(かうきやう)への言葉(ことば)であつたわけですから、このことを、有限(りゆうげん)迷(まよ)える私(わたし)と無限(むげん)不生(ふじゆ)滅(めつ)・永遠(えいゑん)などという(こと)で押(お)さえるなら、仏陀の教えとは、無限(むげん)から有限(りゆうげん)への発信(はつしん)だつたと言(い)うことができます。仏陀の涅槃(ねはん)説法(せっぽう)において、仏弟子(ぶつし)たちに告(つ)げられた内容は、仏陀(ぶつだ)の本体(ほんたい)は「法(ほふ)」にあるという(こと)でした。人間の姿(すがた)や能力(りゆうりき)はいかに優(すぐ)れていようとも、所詮(しよせん)は有限(りゆうげん)なのであり、仏陀(ぶつだ)を仏陀(ぶつだ)として成(な)り立たせている法(ほふ)(ダルマ)は無限(むげん)の側(がわ)にある(こと)なのです。

この考え方に立つて、無限(むげん)菩提(ぼだい)の内実(ないじつ)の明(あ)るみの側(がわ)から闇(やみ)に沈(しづ)む有限(りゆうげん)を明(あ)るみに転(ま)じようとする教え(け)が示(し)されてきたのです。それは無限(むげん)が有限(りゆうげん)に語りかけ、無限(むげん)に呼び返(かへ)すような動き(うご)きが生(な)じることです。仏陀(ぶつだ)の教え(け)は、菩提(ぼだい)の内実(ないじつ)(ダルマ)を衆生(しゆじやう)に与(たま)へる生活(せいかつ)に光(ひかり)を与(たま)へようとしています。それは利(り)他(た)(衆生(しゆじやう)に菩提(ぼだい)の明(あ)るみを与える(たま)へる)の動き(うご)きとなり、自分の救済(きうさい)(自力(じりき))のみでなく、衆生(しゆじやう)の救済(きうさい)(利(り)他(た))をも包(た)むことがで

きる教え(け)が求められてきたのです。それによって大乘(だいじやう)の菩薩道(ぼさつだう)が起(お)こり、自利(じりき)(自己(じこ)の菩提(ぼだい))即利(じくり)他(た)(衆生(しゆじやう)の菩提(ぼだい)の課題(かだい)を呼び起(お)こしてこるのです。その課題(かだい)である一切(いっけつ)衆生(しゆじやう)の救済(きうさい)には、私たちの考え(か)えの方向(かうきやう)を転(ま)ざる発想(はつしやう)が必要(ひつやう)であつたのです。

お知らせ

岡崎教区 第3組 新組発足式
—旧第3組、旧第30組の合併—

8月31日、岡崎教務所で「岡崎教区第3組新組発足式」が開催されました。当日は酷暑の中、新しい組の発足に約60人の僧侶・門徒が集まり門出を祝いました。教区改編の対象になっていない教区における組の改編は、初めての取り組みです。



詳しくはこちら▲

新たに宗議会議員を選出

宗会(しゆかい)を構成する僧侶議員である「宗議会議員」の総選挙が任期満了に伴い実施され、65人の議員が選出されました(男性61人・女性4人、新任18人・再任47人)。任期は9月17日から4年間。宗会…当派の最高議決機関で、宗議(しゆぎ)会(僧侶議員)と参議(さんぎ)会(門徒議員)の両議会で構成される。



当選人の一覧はこちら▲

ご逝去のお知らせ

中山克宏(なかもつひろ) 参議会議員、名古屋教区第23組有隣寺門徒。2025年10月3日逝去。82歳。2000年から2006年、2012年から今期の7期にわたり参議会議員を務められました。

九州教区 原爆80年 「非核非戦法要」・「非核非戦のつどい」開催

—あなたは、どんな「くに」を願いますか?—

8月9日、原爆投下から80年を迎えるにあたり「九州教区 原爆80年 非核非戦法要」が長崎教会において勤修された。参加者は150人を超え、本堂外に設営されたテントでも汗を滲ませながら多くの方々が聴聞していた。勤行後、映画監督である森達也氏の講演では、人が集団化し暴走する危うさについて語り、集団の中で埋没せず個を保つことの重要性を話された。

また、9月7日、長崎市内の出島メッセ長崎において「九州教区 原爆80年 非核非戦のつどい」が開催された。つどいの開催前には、長崎教会に約300人が

集まり、出島メッセ長崎までの平和行進が「非核非戦、共に生きよ」の掛け声とともに行われた。会場には約1,200人が集い、開会式では大谷暢裕門首、木越渉宗務総長による挨拶、次に、高校生平和大使の内序知さんによるスピーチ、続けて、日本被団協代表委員の田中重光さんが当時4歳の被爆体験を語られた。その後、同朋大学名誉教授の尾畑文正氏より記念講演があり、尾畑氏は自身が住職であった時、総代をされていた元軍人の方が「目の前の人を殺さなきゃ自分が殺される。こんな惨いことはない」と話されたことを紹介し、「さるべき業縁(ごうゑん)のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」と『歎異抄』の言葉を引用して、「戦争をするような、そのようなふるまいをする国にしてはならない」と話された。

原爆80年という大きな節目の中で、自由と平等と平和、そして、南無阿彌陀仏の「くに」、浄土を願う者として新たなあゆみの出発点となった。

(九州教区通信員 奥村哲至)



法要の様子

つどいの様子

平和行進の様子

詳しくはこちら



非核非戦 法要



非核非戦 のつどい

救援金を 勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座 郵便振替口座番号 00920-3-203053 加入者名 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」と記載ください。

救援金総額 247,953,769円 (2025年9月30日現在)

読者のお便利

夫婦でおみぎき

新潟県柏崎市 しみず みゆき 清水 美雪 (51歳)

8月、お盆に向けてずっと気になっていた墓石のコケ取りと、お内仏のおみぎきを夫と2人で行いました。毎年、「こんなブラシがあつたらいいよね」、「コケを落とす洗剤ないのかな」なんて言いながらおみぎきをしていましたが、今年は時間が取れたこともあり、洗剤などをそろえて墓石に掘られた文字の中までピカピカにすることができ、

晴れやかな気持ちになりました。

15年前に父が亡くなり、お墓に手を合わせることで父との思い出や、遺してくれた土地や家などを思い、今生きている私たちは父やご先祖様のおかげであると考えようになりました。父の死をきっかけに、ご先祖のお墓がより身近なものになり、夫と2人でお参りする時間がとても大切なものになりました。

子どもたちが独り立ちし、家族そろって手を合わせる機会はなかなかありませんが、阿彌陀様やご先祖への感謝を忘れず、夫婦2人で家やお墓を守る姿を見てもらう中で、お盆や帰省を大事に考えてくれればうれしいです。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。宛先 Eメール/shuppan@higashihonganj.or.jp FAX/075-371-9211 住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただきます。

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

法藏館

https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中!
お買上16,500円(税込)以上送料無料 表示価格はすべて税込

近刊

なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか

仏教のヨコ道ウラ話 石井公成著 一、七六〇円

日常や日本文化のすずみに潜む仏教の知恵や足あとを、ユルく味わう30章。読むと思わず誰かに話したくなる発見が満載の二冊。授業や講話・法話のネタ本に最適!

桐溪順忍著

弘明をひらく 教行信証 上

二、五三〇円

真宗の聖典「教行信証」を上・中・下の三巻で解説。巻では教義上の諸問題を解説する。全4巻の復刊第1巻目の上巻は、教行・行巻。

金龍 静著

蓮如教団論

一五、四〇〇円

蓮如から顕如までの各宗主の事跡を軸に、戦国期本願寺教団の歴史と実像を、組織構造や法物類などの視点も交えて多角的に描き出す。

小川一乗著

改訂版 親鸞の成仏道

六、六〇〇円

「証」の二重性と「真実証」

親鸞の覚りと、親鸞の真実証はどのような関係にあるのか。覚りの本質を具体的に明らかにする本格的な論考。

松井恵光著

報恩講を迎える 三分間法話集

一、三〇〇円

法話の大家が書き下した短編法話の決定版。豊かな話題を駆使して念仏の心をわかりやすく説き明かす。

宮城 顕著

真宗門徒の生活に自信を持つ

一、一〇〇円

真宗門徒の生き方とは、立派になるのではなく、どこまでも支えてくれる確かな道に出会うという(こと)。大きな字の読みやすい一冊。

草野顕之著

親鸞伝の史実と伝承

二、〇九〇円

人びとは親鸞のどのような姿を後世に伝えているのか。伝承を史実に照らし合わせることを通して、親鸞伝の諸相を明らかにする。

岩田文昭著

三木清「親鸞」

一、三〇〇円

なぜ三木清は親鸞を論じたのか。その死によって未完に終わった哲学を、文献注を添えて復刻。異彩を放つ親鸞論の真価に迫る決定版!

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂
および御影堂
【時間】毎日7時~

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・
御影堂・
参拝待所仏間
【時間】通常10時10分~
13時10分~

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日
7時30分頃~

速夜日
(12・27日) 13時10分~
御命日
(28日) 9時30分~

参拝待所 ギャラリー

【時間】9時~16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

※その他、時間・会場を
変更する場合があります。

詳しくは →

東本願寺

検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、
ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時 休館日/毎週火曜日

11月の定例法話

【時間】毎日14時~(12日は10時~)
※19日~29日および休館日は休会。
その他、都合により休会する
場合があります。



11月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】11月9日 佐賀枝 夏文氏
(大谷大学名誉教授)
※11月2・16・23・30日は休会。

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ

検索



真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機に
ぜひ帰敬式を
受式ください



真宗本廟お煤払い奉仕団

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と
大きな団扇を使って外へ扇ぎだし、
新しい年をお迎える準備を行う
「お煤払い」に参加する奉仕団です。

2泊 2025年
12月19日(金)~21日(日)
1泊 2025年
12月19日(金)~20日(土)

真宗本廟おみがき奉仕団

春の法要を迎えるにあたって、阿
弥陀堂や御影堂の仏具のおみ
がきを日程の中心とした奉仕団
です。

2泊 2026年
3月2日(月)~4日(水)
1泊 2026年
3月2日(月)~3日(火)

【参加費】(2泊3日)18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日)13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・
お問い合わせ

同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185



入館中はお仲間や
他団体の方々とカフェ
(無料)でほっこり!

今月号の『同朋新聞』を読んで、 クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

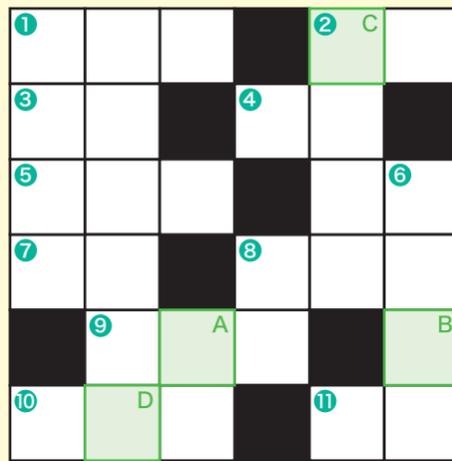
タテのカギ

- 「ひかりを伝えたひと」本号は、『真宗聖典 第二版』603頁の『○○○○和讃』から引用しています。(6面)
- 「特集」帰敬式は「おかみそり」ともいわれ、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、仏弟子としての名告りを表す「法名」を○○○○大切な儀式です。(4・5面)
- 「ご案内」入館中はお仲間や他団体の方々とカフェ(無料)で○○こり!(8面)

ヨコのカギ

- 「ひかりを伝えたひと」煩惱にまな○○○られて 摂取の光明みざれども 大悲ものうきことなくてつねにわが身をてらすなり(6面)
- 「人間といういのちの相」渡辺茂さんは1995年、ハトを訓練してピカソの絵とモネの絵を区別させることに成功し、○○・ノーベル賞を受賞された。(2・3面)
- 「読者のお便り」今月のタイトルは「ふ○○でおみがき」です。(7面)
- 「人間といういのちの相」今月のタイトルは「わた○○ちは花束のようなもの」です。(2・3面)
- 真宗門徒として帰敬式(おかみ○○)を受けましょう(7面枠下)
- 「ご案内」真宗本廟おみがきほ○○団は、春の法要を迎えるにあたって、阿弥陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程の中心とした奉仕団です。(8面)
- 「特集」「おてら○○○クラブin東本願寺」では皆さまからの「おそなえ」をお預かりし、真宗本廟(東本願寺)内の御本尊に「おそなえ」した後、経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちにお届けします。(4・5面)
- 今月の法話「如是○○○」のタイトルは「悲願の鐘」です。(1面)
- 「特集」子ども報恩講のついでには「正信偈」のお読め・お話や楽しい○○リレーションを行います。(4・5面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、
クロスワードパズルを完成させましょう! 11月号の
『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



9月号のクロスワードパズルの答えは

な
で
し
こ

答え A B C D

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

読者のこえ

8月号を
読んで

◆「人間といういのちの相」せめて8月だけでも、自分だけでも、平和や戦争について考える時間を持ち、風化させずにいたいと思いました。(大分県40代)

◆クロスワードパズルを71歳の長男といっしょに解きました。『同朋新聞』が会話を豊かにしてくれました。(愛知県90代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは12月10日(水)(当日消印有効)です。

宛先 〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞11月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。

応募は
コチラ!



〈ご注意〉◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

《お詫びと訂正》

10月号6面の特集にて、第14回世界同朋大会のテーマに誤表記がありました。右記のとおり訂正し謹んでお詫びいたします。

《誤》南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずていこう 「同朋(ボン・アミーゴ) 一多様性を生きる一」
《正》南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう 「同朋(ボン・アミーゴ) 一多様性を生きる一」

ご注文・お問い合わせは



T 075-371-9189
F 075-371-9211

詳しい書籍情報は

東本願寺出版 検索

LINE
アカウントを
開設しま
した!



@469jqkzt



月刊『同朋』11月号

特集 「ありがたい」の話

寄稿:安田菜津紀
インタビュー:金満里 ほか

〈好評連載〉

- 後生の一大事を心にかけて
— ニューヨークから開教便り
- 出会いの真実 — 嘆仏偈を読む
- 仏事作法のひとこま
- 地獄・極楽を読み解く
— 新解『往生要集』
- 対話 生きづらいこの世界でも



A4判・オールカラー 60頁

定価:440円(税込・送料別) / 年間購読:4,400円(税込・送料込)

東本願寺出版 秋のブックフェア

1 オンラインチャリティブックフェア

東本願寺出版オンラインショップにおいて、傷や折れがある書籍を定価の半額で販売します。売上金は令和6年能登半島地震の宗派救援金にいたします。

2 オリジナルグッズプレゼント

「法語カレンダー2026年版」と「今日のことば2026年版」を同時購入でオリジナルグッズをプレゼント!



新刊書も発売中! 詳しくは東本願寺出版オンラインショップをご覧ください。

東本願寺公式ウェブサイトでも『同朋新聞』をお読みいただけます

同朋新聞

検索